

福岡県産業・科学技術振興財団 概要と成果



2019年3月

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団

ご挨拶



当財団は、福岡県の産業構造の転換や地域経済の活性化を目的に、平成元年11月1日に設立され、地域企業や大学等の産学官連携により、基礎研究から応用研究、実用化研究までを一貫して支援するとともに、これらの研究成果を地域産業に展開することによって、新たな産業の振興を図ってまいりました。

中でも、半導体などロボット・システムの分野においては、国等の外部資金を活用しながら、これまで培ってきた半導体技術に情報通信技術やロボット技術を組み合わせたロボット・システム開発技術の発展を支援しています。この結果、福岡県内には417の半導体関連企業が集積し、地域の大きな産業基盤の一つとなっています。また、そのうちの約2割が、ベンチャー企業育成のために当財団が運営するインキュベーション施設に入居しています。

その他、有機光エレクトロニクスの分野においては、九州大学が有する世界最先端有機EL発光材料の実用化のための企業への橋渡しや研究開発支援を行っています。また、ソフトウェア・デジタルコンテンツの分野においては、日本人が開発したプログラミング言語 Rubyによるソフトウェア産業やゲームを始めとしたコンテンツ産業の集積を図っています。

これらの取組により、数多くの地域企業や大学等の関係機関において、実用化、新製品開発や製品・サービスの高付加価値化等、数々の成果が生まれております。

そこで、これらの成果や入居企業を紹介することで、これから新たに実用化、製品開発を目指しておられる県内企業の方々に当財団をご活用いただくとともに、当財団の取組を広く県民の皆様にご理解いただくことを目的に、この成果事例集を作成することといたしました。

どうか企業の皆様をはじめ多くの方々にご覧いただき、当財団へのご理解・ご協力を賜りますとともに、今後の事業化等には是非ともお役立てくださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
理事長 梶山 千里

目次

第1章	これまでの取組みと成果	
1	これまでの取組み	2
2	企業の集積と経済効果	4
3	主な成果	7
第2章	個別の取組み・成果の概況	
I	ロボット・システム開発プロジェクト	
1	研究開発・技術開発の支援	10
2	イノベーション創出基盤の構築	15
3	I o Tプロジェクト創出・推進	18
4	人材育成	24
5	ベンチャー企業支援	28
6	半導体実装技術の高度化	32
7	社会システムの実証	34
II	有機EL実用化プロジェクト	
1	受託研究・共同研究の実施	36
2	有機EL分野参入促進支援	37
III	R u b y ・コンテンツ開発ベンチャー企業の支援	40
第3章	施設入居企業の紹介	42